

友だち募集中

全厚労公式
LINEでも
ニュース配信中!



全厚労ニュース

全 国 労働組合連合会
厚生連

〒110- 東京都台東区入谷
0013 1-9-5

TEL 03-3874-3591

FAX 03-3874-3593

発行日 毎月20日

<https://www.zenkouro.org/>

私たちの闘いは始まったばかり!!

茨厚労ストライキ ベア達成していない県も継続してベア要求を

5月31日、茨厚労は春闘団交（5月29日実施）が決裂、8年ぶりのストライキを決定しました。

土浦支部では当日の17時半から組合説明会も開催されました。

新人40名、既存組合員50名参加し、ストライキの意義などを伝える良い機会となりました。



24春闘

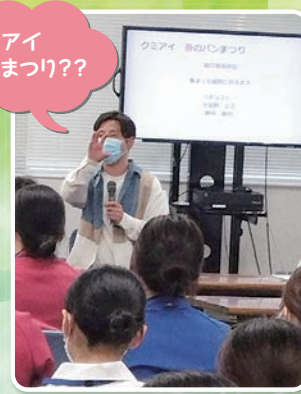
厚労省の見解では「ベースアップ評価料を使って2年をかけてベースアップを」とのことです。今年度手当支給だった県も来年はベア達成しましょう。



学習VTR



組合員の意見に耳を傾ける
宇留野執行委員長



クミアイ
春のパンまつり??



私もください
(笑)



高萩支部 ストライキ集会に61名参加 茨厚労全体で417名参加。

看護の日

看護師不足を伝えよう!署名で国を動かそう!!



茨城 5月12日、ナースウェーブin茨城を開催。茨厚労12名含む18名が参加しました。全厚労医療研究集会でも上映した、「公的医療はどこへ行く・差し迫る医療崩壊」を鑑賞。その後「増員署名」と「鹿行地域の医療体制充実・なめがた地域医療センターの機能回復を茨城県と厚生連に求める署名」を呼びかけました。

福島 メーデーに合わせ県医労連に結集し署名活動を実施、増員署名54筆を集めました。また5月25～26日に開催された東北地方協女性集に福厚労11名が参加しました。



5月12日はナイチンゲール生誕を記念した「看護の日」です。今年も看護の日を中心に医療・介護・福祉の充実を求める「ナースウェーブ」が全国で取り組み、厚生連労組も結集しました。今年の診療報酬改定はまだ私たちの求める内容には達していませんが、その中でもベア評価料や、前回改定での「看護職員処遇改善評価料」などは、私たちが議会や行政に繰り返し訴えてきた運動の成果でもあります。しかし、依然として現場に余裕はありません。看護師をはじめとする医療労働者が安心して働き続けるために、農山村地域の医療・介護を守るために、現場の人手不足を社会に訴え、署名を集め、それを基に働きかけを強めていきましょう。各地の取り組みを写真で紹介します。



長野

5月11日、5年ぶりに完全集合形式で看護集会を開催。長厚労83名含む152名が参加。記念講演の後、「ちょっとドキドキ、初めての署名」の寸劇で署名宣伝のやり方を学び、デモ行進と署名宣伝行動を実施。547筆を集約しました。

静岡

5月12日、静岡県ナースウェーブ集会を開催。静岡厚労41名を含む100名弱が参加しました。講演会「ハラスメントって何?職場環境改善のヒント」の後、白衣でパレード。「看護師増やせ!」「地域医療を守れ!」を訴えました。



広島

5月8日、広島県のナースウェーブに広厚労1名を含む8組織14名が参加。県医労連女性部と看護師問題検討委員会合同で広島労働局雇用機会環境・均等室へ「母性保護と両立支援に関する要請書」を提出しました。その後署名行動を行いました。



24春・看護委員会では厚労省交渉 現場の状況訴え 今後の賃上げに

6月3日、全厚労看護委員会は厚生労働省との交渉を行いました。24年診療報酬改定でのベースアップ評価料が、物価の上昇や他産業の賃上げに追いついていないこと、職種が限定されており一律の賃上げが困難なこと等への改善を求めました。看護師の夜勤等の労働環境改善、また介護に関する項目も加え約2時間、厚労省担当官に現場実態や要望を訴えました。看護委員のほか各県の役員や他職種も合わせ13県32名が参加しました。翌日には第3回委員会を開催しました。

現場との認識かい離 実態伝える

初めに岩本一宏委員長は代表挨拶で、入職超過率が前年度マイナス0.9%となり現場で働く看護師の数が年々減ってきていることを伝え、このままでは地域医療を守れない現場の状況を、厚労省として対応してほしい、と話しました。

看護師の労働環境改善について厚労省は「職員の負担軽減を図っていくことは重要」とし、仮眠室等の職場環境改善への財政支援や復職・定着支援を行っていること、また交代制勤務について諸外国の勤務形態の状況も含め調査研究をしていると回答がありました。

参加者からは、諸外国の働き方ではなく今いる看護師を守るよう求め、「圧倒的に看護師の絶対数が足りない

状況で、勤務の仕方を変えるだけでは地域医療を守るのとは不可能」と訴えました。また看護職の定着・処遇改善について、労働組合の要求から看護職員処遇改善評価料やベースアップ評価料につながったことを評価しつつ、現場では今春闘でベースアップまで到達できていない状況があることを厚労省へ伝えました。

今回ペイシエントハラスメントの問題についても、患者家族からの暴言で職員が休職に追い込まれる実態があることや、管理者へのハラスメント教育の徹底を訴えました。また今回の診療報酬改定の認知症患者ケア加算見直しにより身体拘束による減算が、少ない看護師数で認知症患者をみて

各県からの現場の声を届けました



今いる看護師が長く働けるような制度や診療報酬の改定を求めました。

月8日夜勤 いつ守られるのか

看護職の夜勤日数上限について個人で月8日以内（2交代・月4回）とすること、また夜勤時間は平均でなく一人につき64時間以内とする要求に対して、厚労省は「看護職員の確保の状況など地域の実情を踏まえながら議論する必要がある

る」との回答に留まりました。参加者からはコロナ禍で離職者が増え、看護職の確保が困難な状況でいつ夜勤8日以内が守られるのか、現場では60歳以上も夜勤に入らなくてはならない状況等を訴え「夜勤協定が守れている病院が今どれくらいあるか把握されていますか？」と質問しました。これには、厚労省側から「夜勤について実情を教えていただいてもよろしいですか？」と聞き返す場面もあり、後日厚労省看護課宛てに医労連23年度夜勤実態調査と22年度看護職員労働実態調査の結果が掲載された「医療労働（冊子）」を送付しました。

ベア評価料での来年度2・0%相当の賃金引き上げの財源については、「病院の実績や賃上げ促進税制を活用した上で目標値を目指してほしい」と医療機関へ丸投げの回答があり、厚生連を含め公的医療機関が黒字を出すのは非常に困難なこと、実質賃金が下がる中で医療従事者だけ頑張れというのは入退職調査の結果からも無理なことが表れていると伝え、厚労省からは「今春闘での賃上げ状況を把握していきたい」といった発言がありました。

6月に始まったベースアップ評価料が全国的にどう取り扱われたのかがしっかりと検証され、全厚労からも議員要請行動を通して医療機関の確実な賃上げに繋がっていきたいと感じる交渉となりました。

特に南風原壕群20号壕と糸数アブラガマは印象深く心に残りました。20号壕は人が鉄で掘った高さ1.8mの防空壕を病院として使用したもので、アブラガマは、アメリカ軍の攻撃が激化し、20号壕を撤退した後に使用した自然洞窟です。どちらも、空気は悪く臭いがひどかったそうで、足場は悪くぬかるんでいて真っ暗。南風原壕群には沖縄師範学校女子部、

戦争を二度と繰り返させないために 第32回平和ツアーin沖縄

5月24・25日、日本医労連第32回平和ツアーin沖縄が開催されました。全厚労から4県9名を含め、2全国組合11県医労連41名が参加しました。3日間で那覇軍港、牧港補給基地、普天間基地、嘉数高台の「弾痕の罫」やトーチカ（防御陣地）、嘉手納基地、辺野古新基地建設現場、南風原壕群20号壕と飯上げの道、南風原文化センター資料館、糸数アブラガマ、平和祈念公園での平和祈念資料館と平和の礎を見学する、充実したツアーでした。



辺野古新基地建設現場を一望できる「瀬嵩（せだけ）の浜」

乳歯が放射線汚染を語る

平和委員会映画上映会



開会挨拶をする
岡村秀人平和担当副委員長

全厚労平和委員会は5月18日の拡大中央執行委員会後に平和映画上映会を開催しました。9県20名が参加。映画のタイトルは「放射線を浴びたX年後Ⅲサイレント・フォールアウト～乳歯が語る大陸汚染～」。1950～60年代に米国ネバダ州で実施された核実験による米大陸の放射能汚染を追ったドキュメンタリー映画で、放射能汚染の実態を調べるため、女性たちが始めた「乳歯プロジェクト」を中心に取材し、研究者や被ばく者ら30人にインタビューを敢行。これまで多くのアメリカ人が知らなかった見えない放射性降下物の実態を伝える内容でした。



糸数アブラガマ
入り口にて



全長270mの自然洞窟「糸数アブラガマ」

現地を訪れることで当時の状況を肌身で感じる事ができました。戦争を知らない世代がほとんどの日本で、「戦争を二度と繰り返してはいけない」と感じてもらうには想像力を養うことと共に、当時の証言を聞いたたり、実際に戦跡を訪れ学ぶことの重要性を再確認できました。今年も8月に原水爆禁止世界大会が広島をメイン会場に開催されます。是非現地にお越しいただき、被爆の実相を知って頂ければと思います。

平和ツアーの
詳細は
コチラから



医労連MailNews117号
(かがやけ憲法news®)

頑張る仲間 各県この人

各県・現場で運動に、趣味に、仕事に頑張る人々を紹介するコーナーです。
第196回は徳島にお越し、隔月で全厚労専門部からも紹介します。

徳島からは、この方！我が徳厚労の頭脳！法の番人！知る人ぞ知る大和崇史さんをご紹介します。

普段は、職場で若い方にもお年寄りにもスタッフにも優しく、丁寧に地元の方言丸出しで放射線技師をなさっています。

組合活動も10年を超え、経験も知識も豊富です。徳厚労＝大和さんといっても過言ではないくらい、徳厚労にはなくてはならない存在です。これからも徳厚労をよろしく願います。

全国の皆さん、気さくな方ですので会議等でこのお顔を見かけたら、お声をかけてくださいね！



徳島 大和崇史さん



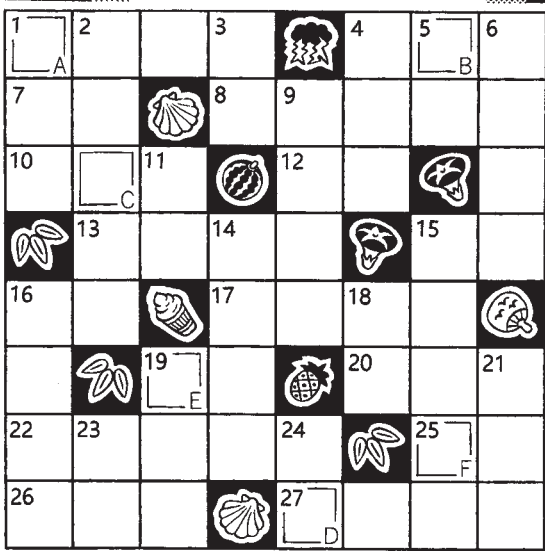
全厚労 多田康江さん(広島)

全厚労看護委員会副委員長・多田康江さんをご紹介します。看護に熱く、愛ある多田さんは急性期看護のスペシャリストです。多田さんの話を聞いていると、ベッドサイドケアや患者さんとの対話を大切にされているんだと感じます。

いつも明るく優しい多田さんは会議で積極的に意見を出してくれ、看護協会との懇談や厚労省交渉でも広島の現場実態を伝え、全厚労看護委員会を引っ張ってくれる存在です。昨年の看護集会では横浜駅前ナースウエーブで、白衣姿で署名板を持つ多田さんのもとに多くの方が引き寄せられていました。ハワイ旅行が大好きな

多田さんは、最近では行けているのでしょうか？リフレッシュ＆リラックスで今後も看護運動を支えてほしいです。

ザ・クロスワード 出題▶モロゾミ勝



答 A B C D E F

- ヨコのカギ
- 成功のもとです
 - うなぎを食べる習慣がある……の丑の日
 - 恩を……で返す
 - 日やけの原因となる太陽の光線
 - インフレは……の膨張
 - 行……。日本……島
 - 仲間。チームの……
 - ……OCは、国際オリンピック委員会
 - ……つば。……焼き
 - 筋道。……が合わない
 - ……声。鼻……
 - 「茸」って読めますか
 - 白鳥の湖など踊ります
 - 切り立つ地形
 - 半円形に反った……橋
 - わいろを贈ること

- タテのカギ
- 指や手のひらでコリなどをほぐす……療法
 - 新五千円札の顔
 - ……の上にも三年
 - 首都はベルリン
 - 落語などの演芸場
 - ベートーベンの交響曲
 - 第五番ハ短調
 - 自動車の車庫
 - 直……。第六……
 - 打者
 - ミルキーウェイ
 - 織女と彦星のデート日
 - ウサギが見て跳ねる？
 - 店の品物を見る人
 - ……燃料。……スーパ
 - ハワイの首飾り
 - ……解きの推理小説

締め切り：2024年7月末日 消印有効
あて先：〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5-6F 全厚労 ニュース係

読者の声

新人さんが入職され本当に嬉しいです。新人さんたちが長く働き続けられるような環境になればいいと思います。

(富山)

——きつと、ご自身が就職した時にも職場の先輩方も同じことを思ってくれていたと思います。共に頑張りました！ (OD)

3月で退職者が出るも新規採用もなく人手不足で大変な毎日です。今の人員でどうやりくりするか業務改善を考え

ています。
——改善方法を見つけれなくて難しいです。一部の人がだけが負担増になることだけは絶対に避けてください。(OG)

下の子が小学生になったので、久しぶりにフルタイム勤務に戻りました。みんなと同じ時間働いて、充実していると思う反面、帰宅後はバタバタしています。気持ちの面でも安定していただけることが大事だと思つ今日この頃です。

——私も子育て、仕事、家庭、労働組合、遊びでバタバタです。欠けると満たされない。ベストは20%ずつかな。(HT)

世の中はベースアップを実施する風潮であり、流れに乗って勝ち取るかと期待していたが……。各県でベースアップを見事勝ち取る事が出来ている情報を見るだけでもまだ可能性はあると思えました。

(岐阜)

——各組織で状況は違いますが、ベア取れなかった組織も、次年度にはベアを獲得できる様に今から取り組みたいと思います。

頑張りましょう！ (KU)

安さが違う自動車共済

加入者の声

家族が社会人となり通勤用に自動車を購入。別居のため自動車共済には入れませんが、損保の保険料が高く感じたので参考に自動車共済の見積りをしました。車両は軽自動車の新車。26才以上で対人・対物が無制限。人身傷害は損保が無制限、自動車共済は1億円でここだけ同条件ではありません。ロードアシスタント特約や弁護士特約を付け【損保】58,970円【自動車共済】36,860円、これに車両保険を一般条件で付けると【損保】133,230円【自動車共済】79,880円、車両保険を危険限定・車対車にすると【損保】102,530円【自動車共済】61,450円となりました。車両保険なしの損保の保険料と自動車共済の車両保険ありの掛金が同程度でした。



全厚労×
全国の活動を
ポスト中！



読者の声、聞かせて・教えて、クロスワードはすべてQRコードよりスマホから投稿できます。氏名・住所・希望景品(図書カード又はクオカード)は必須事項です。

教宣部のつぶやき

好きな言葉「温故知新」
全厚労定期大会が開催されるまでに各県では定期大会が開催され役員交代がある県も出てくると思います。長年役員を務めた方々には労いと感謝の言葉を送るとともに培った経験や知識を今後も広めて欲しいと思います。新役員の方々はその知識を引き継ぎ、新しい発想や運動の展開を期待したいです！ (TC)



向かいの「道の駅」から眺める西濃厚生病院



広々として、落ち着いたあるリハビリ庭園



眺めも良く、リーズナブルな特別室



新病院の建設が進む場所で、記念撮影

地域住民への「思い」を大切に

教宣部・岐阜県2地域の実情を視察

先取りするような形で進めてきたこと。10キロ程度の距離ですが、揖斐川町から大野町に新築移転することで、揖斐川町との関係も危ぶまれましたが、現在は良好な関係を再構築しているそうです。

一通りの説明を受けた後は、病院内で視察可能な場所を廻りました。広いリハビリルームの外には、「リハビリ庭園」が造られています(写真左)。

近々、開棟を予定している最上階フロアからは、揖斐川の支流である根尾川と田園風景が広がっていました。特別室の費用も公的な立場からリーズナブルで、落ち着ける環境にありました。最後に

元々の揖斐厚生病院は、病院の理念として、患者さん、地域社会、病院への「思い」を持って医療事業を行ってきました。人口減少等に伴って、入院・外来患者とも年々、減少傾向にあったことや、施設の老朽化や耐震化など、なんらかの対策を求められる状況にあり、あえて「地域医療構想」を

2日目は、東濃厚生病院(瑞浪市)と土岐市立

東濃地域の医療確保へ

最新の放射線治療施設の内部も見せていただきました(写真右)。

定管理者となる予定です。現在は、病院棟地下の「免震構造」部分を工事中で、山を崩して整地された土地に、大きなクレーンが動いているのと、事務や職人さんたちの仮設施設が建っているのみでした。

視察には岐阜労役員も加わって、新病院の設計

や費用、地域の課題などの説明を聞きました。地域住民や病院職員たちの一番危惧しているところは、交通アクセス面で、立地的には土岐市の瑞浪

市寄り、現在の2病院のちょうど中間地点辺りに位置するので、今でも問題となっている主要道路の渋滞や、民間バス会社の路線撤退などについて、意見交換を行いました。また工事現場では、昨今の人材不足でも分かるように、建築会社で労働者の処遇改善を重視しているとのこと、食堂に力を入れているなどの話も聞くことが出来ました。

2年後開院となった際には、改めて視察したい旨を伝えて、視察行動を終えました。

今回の視察にあたっては、岐阜労を通じてのお願いでしたが、JA岐阜厚生連の役員や病院事務組合の方々にも、大変お世話になりました。ありがとうございました。

全厚労教宣部は、5月10～11日にかけて、新年号でも取り上げた新築の西濃厚生病院と、東濃厚生病院と土岐市立総合病院の新築統合の状況を視察しました。地域医療構想による、医療機関の再編統合が全国で進む中、実情や課題を掴もうと企画しました。



最新鋭の放射線治療機器

総合病院(土岐市)の統合で、2026年2月開院予定で進められている「(仮称)公立東濃中部医療センター」の建設地を、東濃中部病院事務組合の竹内さん

ドクター山本晴義の心の相談室(9)



山本晴義先生

今も日本に根強く残る、睡眠への無頓着さ

皆さんは日ごろ十分な睡眠をとれているでしょうか？

経済協力開発機構(OECD)の各国平均睡眠時間のデータ(2021年)によると、先進国を中心にした世界33カ国のうち、日本の睡眠時間は最も短い、1日平均7時間22分でした。2番目に短い韓国と比べても30分近い差です。

厚生労働省が新たにまとめた「健康づくりのための睡眠ガイド2023」では、世代を成人と子ども、高齢者の三つに分けています。このうち成人については、推奨

する睡眠時間の目安を6時間以上としています。子どもについては、小学生が9時間から12時間、中学生は8時間から10時間確保することを推奨しています。一方、高齢者については、寝床にいる時間が8時間以上にならないことを目安に、必要な睡眠時間を確保してほしいと述べています。これだけの睡眠時間を確保できている人がどれだけいるでしょうか？

また、成人と高齢者は目覚めたときに体が休まらなかったと感じる「睡眠休養感」が重要としています。これは睡眠

時間の長短にかかわらず、これから活動する体の準備が整ったと感じているか、主観を評価したものになります。

世界の中でも睡眠時間が少ないのは、日本人は眠ることを犠牲にして働くことが頑張っている証拠だとされがちで、戦後、睡眠を削り、経済成長と教育のレベルを高めてきたことが睡眠に対する無頓着さに影響しているのではないかとされています。この意識を変えていくことが日本人の健康を守ることになります。子どもや思春期の大切な時期の睡眠には、保護者や指導者の考え方が大きく影響します。改めてわれわれ大人が睡眠を見直す機会にしていきたいです。